関西社会福祉学会・日本社会福祉学会関西地域ブロック

**第 52 回**若手研究者・院生情報交換会（第 2 報）

# 実証調査のデザインから分析までのプロセス展開
## ―新型コロナ中での困難と工夫―

**日時**：**2023 年 1 月 14 日（土）**　14：00－17：45

**会場**：同志社大学　新町キャンパス　渓水館 1 階　会議室　（参加費無料）

**趣旨**：

社会環境の変化により、福祉ニーズが多様化・複雑化しています。これらの福祉ニーズに対応するには、理論的議論の展開が重要であると同時に、実証調査も大切です。だが、実証調査を実行する前に、調査目的を達成するためにはどのようにしてデザインしていくか、実行全般において何に注意を払うべきか、そして得られたデータをどのように分析していくかなどといった研究作法的なことを考えなければなりません。

また、昨今の新型コロナウイルスの影響を受け、実証調査の受け入れや現地への移動が難しくなっています。このような状況の中、日本や海外での実証調査を行う際、直面しうる困難および、困難を乗り越えるための対策とは何か。

今回の企画は、社会福祉の研究者に、量的・質的調査の経験についてエピソードを交えて語ってもらいます。参加者からの質疑応答を通して活発な意見交換の場を設けます。多くの方のご参加をお待ちしております。

**プログラム**：

14：00−14：05　開会あいさつ

14：05−14：55　基調講演　立木茂雄（同志社大学社会学部教授）

14：55−16：10　報告　姜　民護（同志社大学社会学部助教）

松下茉那（神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程院生）

劉　鵬瑶（東洋大学福祉社会開発研究センター研究員）

コーディネーター　楊　慧敏（同志社大学大学院社会学研究科外国人留学生助手）

16：10−16：25　休憩

16：25−17：05　質疑応答

17：05−17：10　総括

17：15 - 17：45 名刺交換＆交流会

**参加申込**：

参加を希望される方は、下記までメールでお申込みください。なお、メールには、①お名前、②ご所属を必ずご記入ください。準備の都合上、**1 月 13 日（金）**までご連絡いただけますと幸いです。

参加申込・お問い合せ先：同志社大学　楊慧敏　E-mail: huyang@mail.doshisha.ac.jp

【※新型コロナ感染症の状況次第では、中止になることもあります。】

**※当初（第 1 報）はプログラム終了後、会場を移しての懇親会をお知らせしておりましたが、プログラム終了直後に同会場での名刺交換&交流会（30 分程度）の開催に変更させて頂きます。また、開始時間とプログラム内容に変更はございませんが、講演と報告の時間を変更しております。（2023 年 1 月 6 日）**